

国境を越え、障害の有無を越え、一緒に楽しもう！

12/1「ユニバーサルスポーツフェスティバル 2019」開催

JICA 東京では、2019年12月1日（日）渋谷区西原の当施設内で、障害の有無に関わらず一緒に楽しめる「ユニバーサルスポーツ」を体験できるイベントを開催します。

本イベントは、世界各国から来日し JICA 東京に滞在中の外国人研修員も参加するため、住宅街で行う身近なイベントながら東京 2020 さながらの国際的な雰囲気となります。普段遠くに感じがちな「障害」と「途上国」を感じ、JICA をよりに身近に感じていただける機会として、また、東京 2020 パラリンピックやインクルーシブな（誰一人取り残さない）社会づくりに向けて、障害をお持ちの方、ちいさなお子さまやご年配の方の参加を歓迎します。

ぜひ取材をご検討ください！

本年の競技種目は、「風船バレー」「卓球バレー」「ボッチャ」の3種類です。当日の参加者を任意に組み分け、チーム対抗戦を行います。JICA 研修コース「障害者権利条約の実践のための障害者リーダー能力強化」に参加する障害当事者の研修員（スリランカ、タジキスタン、コロンビア、パラグアイ、エジプト、南アフリカ、レソト、エスワティニ）も参加します。両チームの障害が同条件になるよう目隠しをしたり、特別ルール（手を使わない等）を追加する点がユニークなポイントです。

本イベントを共催する特定非営利活動法人アジアの障害者活動を支援する会（ADDP）は、現在、JICA 草の根技術協力事業「ラオス障害者スポーツ普及促進プロジェクト」を実施中で、ラオス各地でインクルーシブな社会を目指し「ユニバーサルスポーツ」を普及促進する傍ら、ラオス人パラアスリートが東京 2020 等の国際大会に出場するためのトレーニングや国際大会出場手続きのサポートを行っています。

日時：2019年12月1日（日）13:00～16:00（競技は13:30頃～15:30頃）

場所：JICA 東京 講堂

主催：JICA 東京

共催：特定非営利活動法人アジアの障害者活動を支援する会（ADDP）

参加者：外国人研修員 約15名 ・一般（大人・子供）参加者 約50名

種目（3種目）：卓球バレー（鈴入りピンポンボールで、チーム全員で卓球台を囲み打合う）
風船バレー（鈴入りの大きな風船で行うバレーボールのような競技）
ボッチャ（基準球の近くに投げられた玉ほど高得点）

昨年の様子（動画）：<https://www.youtube.com/watch?v=T6y9j17P9b8>

※取材いただける場合は、下記問い合わせ先に事前にご連絡をいただけますようお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第二課 石川章子 TEL：03-3485-7044 E-mail：tictpp2@jica.go.jp

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
東京センター（JICA 東京）
2019年11月21日
